



https://www.seiwa-c.co.jp



Style of Interface to the Next Communication

取扱説明書B

ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ **BTE22X**

パスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

BTE220・221

Bluetoothマイクミュート付きイヤホン

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

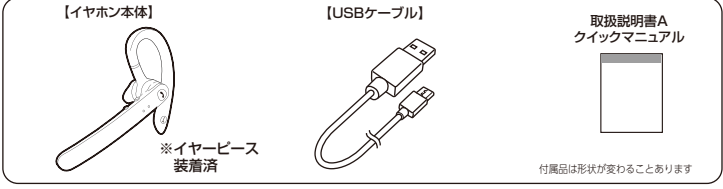
1 はじめに

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/パソコン/タブレットなどにお使いいただけますが、本書の中では接続機器を「携帯電話」と記載しております。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す	短く連続で押す	長押しする
▼ 例) 短く1回押す	⬇ 例) 連続で2回押す	⏱ 例) 約4秒間長押しする

●セッ内容の確認 ●セッ内容がすべてそろっていることを確認してください。




●安全にご使用いただくために


●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきまして、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止(してはいけないこと)を示します。

 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

警告

火の中に投下したり、高温(50℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

本製品やUSBケーブルを水に濡らしたり、濡れた手でさわらないでください。
本製品は防水機能がありません。雨、雪、霧などの状況下において屋外では使用しないでください。水没した状態でご使用になった場合、故障や火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。また、充電端子が雨や雪、汗など水分に触れた場合は、乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてから使用してください。機器内に水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。イヤホンの内蔵充電電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話のトラブルに際して、当社は責任を負いかねます。また分解・切断しての直接配線、傷がついた状態でのご使用、USBケーブルをきつ結びなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差しなどの操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されていて大変危険です。

USB充電器は出力5V1A以上の製品をご使用ください。
指定外の電源、電圧で使用するなど、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となる可能性があります。また、充電器側の間違った使用方法や仕様品質が原因による故障や火災、感電などの事故に関して、弊社では責任を負えません。

電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

飛行機に搭乗する際は、航空会社の方針に従ってください。
航空機内でのご使用に際しては、各航空会社によってはBluetoothを使った通信機器製品が使用できない場合があります。その場合は指示に従って取り扱ってください。使用できない場合は搭乗前に予め電源を切ってください。

注意

本製品や付属品をエアバッグ近くなど危険が想定される場所に放置、保管しないでください。
車のエアバッグの拡張範囲に本製品や付属品を放置すると作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

極端な低温(0℃以下)での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

本体を屋外(車外)や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

ポケットやバッグに収納するときは、ケーブルなどを繋かず、イヤホンの電源をオフにしてください。
衝撃や無理な力で故障の原因になったり、メインスイッチが押されて、誤って通信をしてしまうおそれがあります。

汚れた場合は、しっかりと絞った布で、汚れを拭き取ってください。
研磨剤などを使用しないでください。表面の塗装が剥がれるおそれがあります。

長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリのない場所にケーブルや充電器を繋ぎ保管してください。

USBプラグを抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと本機や充電器破損の原因になります。

付属しているケーブル以外で、イヤホンに充電しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

イヤホンのLED光源を直視しないでください。
目の健康をそとねるおそれがあります。

- ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
- 本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
- 本製品を含むBluetooth機器同士で通話をする、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- イヤホンにUSBケーブルをつないだまま、耳に付けてご使用になるのは絶対にやめてください。

Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。

●本製品について

- 本製品のイヤホンはBluetooth Version 5.0に準拠、適合しております。上位互換性からVer.4.0、3.0や2.1の携帯電話やBluetooth内蔵通信機器とも接続してご使用になれますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話のご使用は保証しておりません。
- 適合可能な携帯電話に関する情報は、当社Webサイト(箱記載)の適合情報にてご確認ください。
- 付属のイヤピースは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。
- 内蔵充電電池は消耗品ですので、充電電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電電池の交換はできません。
- 仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 使い方の説明

お買い求めいただいた後、ご使用前に必ずやっていただくこと

- 本製品イヤホンに充電する**
ご使用前にイヤホンに充電して、満充電にしてください。(→「4.充電する」を参照)
- お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンにペアリングする**
イヤホンは開封時そのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やスマートフォンとイヤホンをお互いに登録設定することでセキュリティが確保され無線通話が可能となります。この設定をペアリングといいます。(→別紙、本製品付属の<取扱説明書A>「②ペアリングの方法」を参照)

3 製品仕様

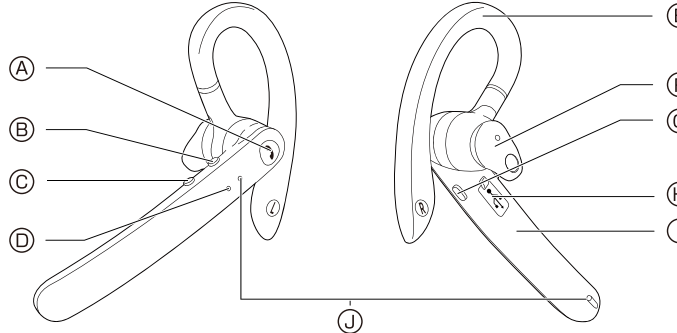
●●● 主な仕様		
項目	仕様	備考
Bluetooth仕様	Version 5.0	
Bluetooth対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP	
周波数	2.4GHz/スブキャリア/FHSS	
使用可能距離	見通し 1.0 m	※2
電池形式/容量	3.7Vリチウムイオン電池	
充電時間	約 1.5 時間	※1
通話時間	最大約 8 時間	※1
スタンバイ時間	最大約 72 時間	※1
項目	仕様	備考
製品寸法/重量	H67×W99×D31mm 約15 g	
マルチポイント	○ (2台まで対応)	※2
マルチペアリング	○ (8台まで対応)	※3
アラーム音	あり	
充電端子	microUSB	
接続機器表示名	BTE22X [SINC BTE22X]	※4
パスキーコード	0000 (ゼロを4つ)	※5

- ※1 使用状況、接続相手機種、使用環境、動作条件などによって著しく変わる場合があります。
- ※2 マルチポイントする2台の端末の組み合わせや接続順によっては、機能が制限される可能性があります。
- ※3 電源オフにしても8台までの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます。(同時に待ち受けできるわけではありません)
- ※4 接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。
- ※5 パスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。

●●● 対応プロファイル

- HSP(Headset Profile)/イヤホンプロファイル
- HFP(Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)高度オーディオ配信プロファイル
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)AV機器リモートコントロールプロファイル

●●● 外観仕様



名称	機能説明
A. メインスイッチ	電源の入り、応答/終話、再生一時停止などで使用します
B. ボリュームアップ(VOL+)キー	音量を大きくしたり、曲戻しなどに使います
C. ボリュームダウン(VOL-)キー	音量を小さくしたり、曲送りなどに使います
D. LEDランプ	青色と赤色のLEDを内蔵。イヤホンの状態を表示します
E. ラバーフック	耳掛け部。回転させることで、左右どちらの耳でも使用できます
F. スピーカー	通話やビープ音、音声案内のためのスピーカーです
G. マイクスイッチ	こちら側の通話声を聞こえないようにすることができます
H. 充電ポート(カバー付き)	micro USB。付属のUSBケーブルで充電します
I. 充電電池(内蔵)	リチウムポリマー電池(充電電池の交換はできません)
J. マイク	通話用マイクです

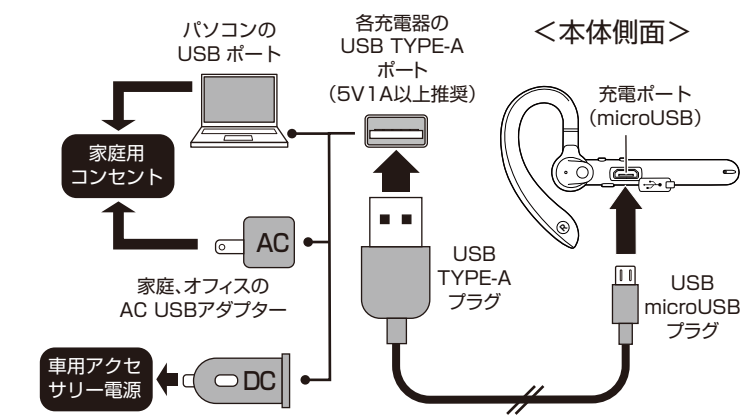
- 商標について
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

4 充電する

●●● 充電をはじめる前に必ずお読みください

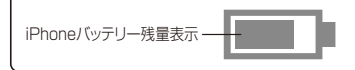
△充電には、必ず付属のUSBケーブルを使用してください。

- イヤホンには充電電池が内蔵されています。使用前に十分に充電してください。
- はじめてご使用になる場合、満充電になるまで最大で約1.5時間充電する必要があります。
- 充電電池の劣化を防ぐため、連続2時間以上の充電は避けてください。充電が完了しましたら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
- USBケーブルの各USBプラグを車のDCアクセサリソケット内に絶対に入れないでください。
- USBケーブルをつないだままご使用になるのはおやめください。必ずケーブルを外してご使用願います。
- USBプラグには差し込み方向があります。プラグ形状とUSBポートの形状をよく確認してから接続してください。各プラグを外す際には、必ずプラグの根元をしっかりと持って、水平にゆっくり抜いてください。
- イヤホンに長期間使用していなかったり、充電電池が完全放電した状態では、LEDランプが点灯するまで時間がかかる場合があります。(数分以上かかる場合もあります)
- iPhoneではiPhone画面上にイヤホンのバッテリー残量目安が表示されます(下図参照)。
- バッテリー残量表示はiPhone側、本製品側の状況(充電状態であったり著しく電池を消費する使用環境であるなど)により誤差が生じることがあります(残量表示の単位は10%毎です)。



iPhoneステータスバーでのアイコン表示例

電池残量表示対応機種 (2022年09月現在)
iPhone 14/13/12/11/SE2/Xs/X/SE/8/7/6/(Plus含む)、5s/5c/5/4s/4/3GS/3G
※iOS 3.1.2以降



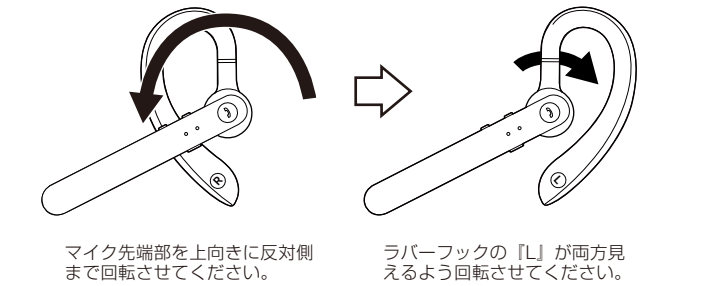
- 充電手順
- 出力5V1A以上のAC、DC電源の充電器が充電ポートを持つ充電機器を用意してください。
- USBケーブルのUSB TYPE-AプラグをUSB充電器が車やパソコンなどの充電端子に接続してください。
- イヤホンの充電ソケットの蓋を開け、USBケーブルのmicroUSB充電プラグ(小さい方)を差し込んでください。
- イヤホンのLEDランプが赤点灯し、充電が開始されます。
- イヤホンは約2時間で満充電になり、充電が完了するとイヤホンのLEDランプが青く点灯します。充電に使用するUSBソケットの電流値によっては、充電時間が長くなる場合があります。

●●● 別売りのDC充電器から充電する場合(お車で充電される場合)

- 必ず、あらかじめお車のエンジンをかけておいてください。
- エンジン始動後、DC充電器(別売)をお車のアクセサリソケットに差し込んでください。振動等で抜けることの無いよう奥までしっかり差し込んでください。
- 上図のようにUSBケーブルをつないで充電してください。

5 イヤーフック

●本製品は工場出荷時は右耳に取り付けるようになっていますが、スピーカー部とラバーフックを回転させることにより、左右の耳どちらにも装着することができます。



6 イヤーピース

- 出荷時にイヤーピースが本体に取り付けられています。
- 取り外す際はイヤーピースのタブ(円形の出っ張り)でない部分をつまんで、やさしくねじりながら取り外して交換してください
- ※無理に剥がすと、切れ、切れなど破損の原因になります。
- 落下の原因となります。イヤーピースがきちんとイヤホンのスピーカー部の根元まではまっている事を確認してから、耳にはめてください。

■主要操作一覧

LED灯表示	早見表
消灯	 赤/青 交互点滅
接続して待機中	ペアリングモード探索中(非接続) / 充電が必要な状態 / 充電中 / 充電完了

機能 / 状況	操作	LED表示 (イヤホン)	音声・電子音
電源オン	メインスイッチを2秒間押しして離す	青3回点灯	「パワーオン」
電源オフ	メインスイッチを3秒間押しして離す	赤3回点灯	「パワーオフ」
ペアリングモード	電源ONの後、探索モードになります	赤/青交互点滅	「ペアリング」
ペアリングなし	ペアリング(探索)モードが3分間継続	赤/青交互点滅(3分後自動電源切)	-
ペアリング完了	(端側でも確認できます)	青フラッシュ点滅	「コネクト」
スタンバイ(待機)	着信待ちの状態	-	-
接続解除(Disconnect)	接続機器とのリンクが外れた時など	赤/青交互点滅(3分後自動電源切)	「ディスコネクト」
音量を上げる	VOL+ボタンを押す(待機時音量調整不可)	-	-
音量を下げる	VOL-ボタンを押す(待機時音量調整不可)	-	-
再生開始/一時停止	接続中、メインスイッチを1回押す	マルチポイントでは1台のみ	-
リダイヤル	メインスイッチを短く早く2回押す	-	「リダイヤル」
Siri起動(iPhone)	メインスイッチを2秒間押しして離す	-	「ビープ音」
着信	-	-	着信音など
受話選択	メインスイッチを1回押す	-	「ビープ音」
終話選択	メインスイッチを1回押す	-	「ビープ音」
通話中	-	-	-
接続切り替え	イヤホン側ではできません	-	-
着信拒否	着信時、メインスイッチを2秒間押しして離す	-	-
充電警告	電池残量10~20%未満で警告開始	60秒毎に赤点滅	「バッテリーロウ」
充電中	-	赤点灯	-
充電完了	-	青点灯	-
リセット	メインスイッチを8秒長押し	紫点灯	「ビープ音」

●●● 代表機種のペアリング手順

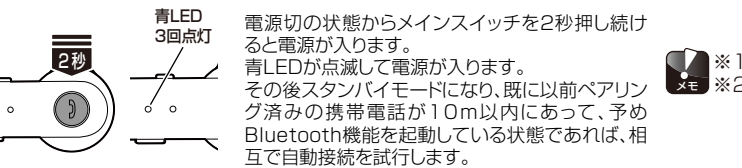
- ※必ず携帯電話・スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合があります。
- ※「BTE22X」には商品の品番(数字)が表示されます。(本製品はSINC BTE22Xと表示されます)
- ※手順は概略ですので一字一句正確なものではありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。

iPhone (例: Apple iPhone 14/iOS 15)	Android OS Ver. 10 スマートフォン (例: Galaxy S20 5G SC-51A(docomo))
1 [ホーム画面]を開いて[設定]を選択してください	1 ホーム画面表示からアプリボタンを押す
2 [Bluetooth]をONにしてください(右にスライド)	2 [設定]を押して選択する。
3 イヤホン本体をペアリングモードにしてください(LEDランプが赤/青交互点滅になる)	3 リスト内[Bluetooth]のスイッチを右にスライドさせONにする
4 自動的にデバイスのスキャンが始まります	4 Bluetoothを選択。
5 スキャンが終わると、数秒~十数秒で[デバイス]のリストに[SINC BTE22X]と表示が出ます	5 イヤホン本体をペアリングモードにする(LEDランプが赤/青交互点滅になる。)
6 表示されたリストのBTE22Xをタップしてください	6 [機器の検索]をタップ
7 [自分のデバイス]というリストが現れ、[SINC BTE22X]が表示され、その右に「接続済み」という表示が加わります	7 [使用可能な機器]リストに[SINC BTE22X]が表示されます
8 イヤホンがスタンバイモード(自動接続完了)になります	8 表示されたリストの[BTE22X]をタップする
	9 [ペアリングされた機器]リストのBTE22Xに[...]に接続したと表示されイヤホンがスタンバイモード(自動接続完了)になる

※記載のない機種につきましては、弊社ホームページ及びご使用の携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

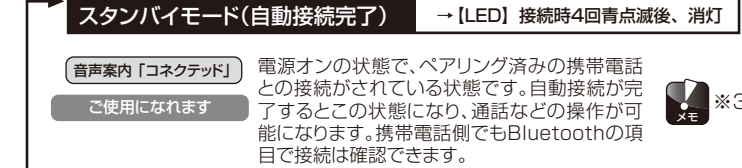
8 基本操作 ※取扱説明書Aの③基本操作もご確認ください

電源オン(電源を入れる) → (電源オフ状態から) **メインスイッチを2秒間長押し～3回青LED点滅まで**



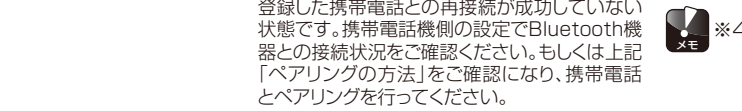
電源切の状態からメインスイッチを2秒押し続けると電源が入ります。青LEDが点滅して電源が入ります。その後スタンバイモードになり、既に以前ペアリング済みの携帯電話が10m以内にあって、予めBluetooth機能を起動している状態であれば、相互で自動接続を試行します。

スタンバイモード(自動接続完了) → [LED] 接続時4回青点滅後、消灯



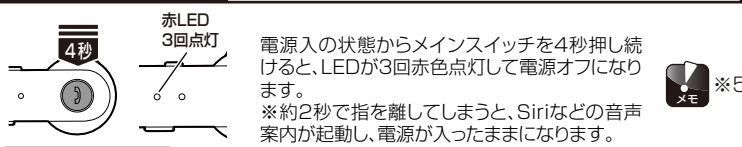
電源オンの状態で、ペアリング済みの携帯電話との接続がされている状態です。自動接続が完了するとこの状態になり、通話などの操作が可能です。携帯電話側でもBluetoothの項目で接続は確認できます。

探索モード※接続を試行中(未接続) → [LED] 赤・青交互点滅(3分間継続)



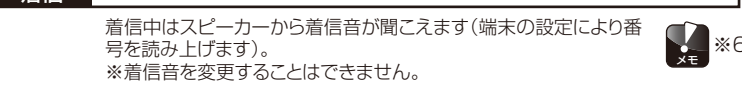
ペアリングが未登録の状態か、以前ペアリング登録した携帯電話との再接続が成功していない状態です。携帯電話機側の設定でBluetooth機器との接続状況をご確認ください。もしくは上記「ペアリングの方法」をご確認になり、携帯電話とペアリングを行ってください。

電源オフ(電源を切る) → (電源オン状態から) **メインスイッチを4秒長押し～3回赤LED点灯**



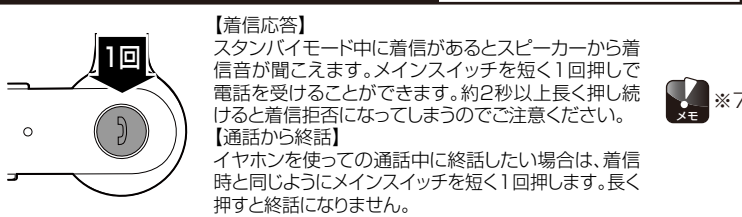
電源入の状態からメインスイッチを4秒押し続けると、LEDが3回赤色点灯して電源オフになります。※約2秒で指を離してしまうと、Siriなどの音声案内が起動し、電源が入ったままになります。

着信



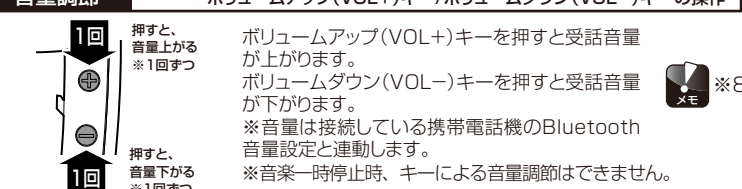
着信中はスピーカーから着信音が聞こえます(端末の設定により番号を読み上げます)。※着信音を変更することはできません。

着信応答(電話を受ける)/終話(電話を切る) → **メインスイッチを短く1回押し**



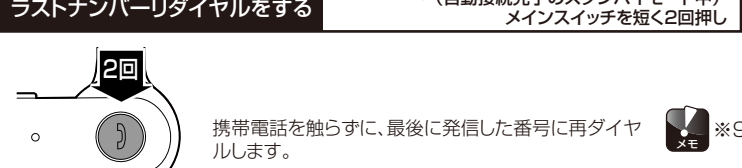
【着信応答】スタンバイモード中に着信があるとスピーカーから着信音が聞こえます。メインスイッチを短く1回押しして電話を受けることができます。約2秒以上長く押し続けると着信拒否になってしまうのでご注意ください。【通話から終話】イヤホンを使つての通話中に終話したい場合は、着信時と同じようにメインスイッチを短く1回押しします。長く押しすと終話になりません。

音量調節 → **ボリュームアップ(VOL+)キー/ボリュームダウン(VOL-)キーの操作**



ボリュームアップ(VOL+)キーを押すと受話音量が上がります。ボリュームダウン(VOL-)キーを押すと受話音量が下がります。※音量は接続している携帯電話機のBluetooth音量設定と連動します。※音楽一時停止時、キーによる音量調節はできません。

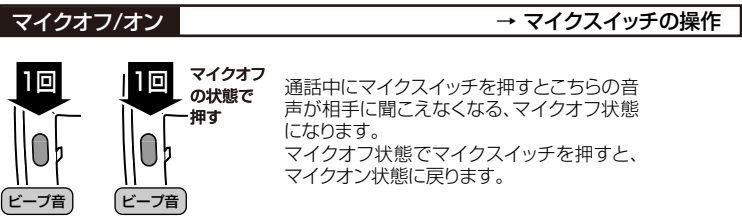
ラストナンバーリダイヤルをする → (自動接続完了のスタンバイモード中) **メインスイッチを短く2回押し**



携帯電話を触らずに、最後に発信した番号に再ダイヤルします。

音声案内「リアル」

マイクオフ/オン → **マイクスイッチの操作**



通話中にマイクスイッチを押すとこちらの音声相手に聞こえなくなる、マイクオフ状態になります。マイクオフ状態でマイクスイッチを押すと、マイクオン状態に戻ります。

※印に対しての注意点

- ※1:一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(自動接続完了)になります。(自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります。)
- ※2:※1で接続しない場合は携帯電話機側で手動で接続してください。
- ※3:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE22X」を削除し、イヤホンの電源を切って充電した後、再度ペアリングをお試しください。
- ※4:イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話の電源が切れていたり、BluetoothがOFFになっていると、このモードになります。
- ※5:イヤホンの電源をオフにする時携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)
- ※6:イヤホンを着装(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(通話ボタンを押すなど)して電話を受けることもできますが、携帯電話本体での通話となった場合、その後、携帯電話の手動による操作でイヤホンに切り替えてください。
- ※7:イヤホンを着装(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。
- ※8:耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。
- ※9:HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。

・・・音楽再生や動画再生出力を楽しむ

- 音楽再生/動画音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ(A2DP)プロファイルにも接続してください。※自動認識してペアリング時にA2DPでも接続する携帯電話機もあります。
- 携帯電話の機種によっては、その仕様により音楽再生及び動画再生時のボタン操作ができない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、その仕様により音楽再生及び動画再生時の着信応答操作などができない場合があります。

機能	操作方法/説明
再生一時停止	(音楽/動画を起動した状態で)メインスイッチを短く1回押し
曲送り(チャンネル送り)	(再生中に)ボリュームダウンキー(VOL-)キーを約2秒間長押し
曲戻し(チャンネル戻し)	(再生中に)ボリュームアップキー(VOL+)を約2秒間長押し

- 音楽再生中の着信応答 …… 着信中にメインスイッチを短く1回押す(音楽は一時停止)
- 電話を切る(終話) …… 通話中にメインスイッチを短く1回押し(音楽再生に戻ります。)

9 マルチポイント (2台同時待ち受け)

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらかに携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。しかし、2台同時に携帯電話の操作及び電話はできません。

・・・マルチポイントについて

- ※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話(一部のau携帯電話)はマルチポイント接続できない場合があります。また、再接続メニューがない電話機はマルチポイント接続2台のうち1台として使用できます。この場合、ペアリングは2台目にしてください。
- ※携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
- 2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
 - ①1台目の携帯電話(Bluetooth機器と再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
 - ②携帯電話機の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
 - ③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
 - ④最初にペアリングした携帯電話のBluetooth設定をONにして再接続してください。
 - ⑤2台目の携帯電話機のBluetooth設定(リスト)で本製品と接続状態になっているか確認してください。
- ※この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります(ラストナンバーリダイヤル時にご注意ください)。
- ※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにする、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

・・・マルチポイント時の通話に関する操作

- マルチポイント接続中(2台待ち受け時)は、どちらの携帯電話に着信があってもイヤホンから着信音が聞こえます。着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです(→[8.基本操作]参照)。
- ※マルチポイントで接続している2台の携帯電話をそれぞれ携帯電話A(以下A)と携帯電話B(以下B)とします。
 - (A)とBluetooth接続した状態での会話中に、もう一台の携帯電話機側に着信があった場合は、イヤホンのスピーカーからマルチポイント接続したもう一台への着信を知らせる呼び出し音は聞こえません。
 - (B)着信時受話もしくは着信拒否を行った場合、ボタン操作権が(B)に移りますので、(A)で音量を上下させてり、終話する際は携帯電話で行ってください。また、(A)と会話中に(B)が着信した際にメインスイッチを1回押すと(B)を受話できますが、マイクとスピーカーは(A)につながっています。メインスイッチを1回押すと(B)は終話できますが、ボタン操作権は(B)に移りましたので、(A)は携帯電話で操作してください。
 - ※マルチポイント時の2台通話はできません。ボタン操作権が(B)にある時に、(A)のアプリ操作を行った場合ボタン操作権が(A)に移ります。

<マルチポイント時のラストナンバーリダイヤル>

- 接続した順(ペアリング登録ではありません)で操作が変わります。1台目に接続した携帯電話機のラストナンバーリダイヤルはメインスイッチを2回押ししてください。接続順が2台目になる携帯電話機のラストナンバーリダイヤルはできません。
- ※マルチポイントのペアリング登録の順ではなく、接続順が1番目のみリダイヤル可能です。※操作権変更した場合、操作権あるデバイスの方がラストナンバーリダイヤル可能です。

10 便利な機能

・・・充電電池残量警告機能

- イヤホンの充電電池残量が少なくなると、60秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「バッテリーロウ」と音声でお知らせし、イヤホンのLEDも60秒毎に赤が1回点滅します。そのまま使用を続けると電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

・・・Siriを起動する(iOS5.1以上をインストールしたiPhone4s以上で対応) ※2023年08月現在

- スタンバイモード時にイヤホンのメインスイッチを約2秒長押しして離すと「ボイスダイヤル」という音声と共にiPhoneのSiri(音声アシスタントサービス)が起動しイヤホンを通しての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。起動した状態から終了させたい場合はもう一度メインスイッチを短押ししてください。

- iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを2秒長押しすると、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。※マルチポイント時は1台目に接続したiPhoneでのみ、Siri起動が可能です。※上記操作はiOS及びAPPのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

・・・リンク切断後の再接続試行

- ペアリングされた携帯電話がイヤホンの通信範囲(約10m)から離れた場合や、携帯電話の電源が切られた場合など、接続(リンク)が切断したときは、音声で「ディスコネクト」と案内されます。約3分以内に通信範囲(約10m)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 3分以内に10m以内に戻っても自動接続しない場合は、メインスイッチを1回押すと再接続を試みます。
- 10m以上離れたまま連続で約3分が経過すると自動でイヤホンの電源が切れます。この場合はその後、再度10m以内に戻った時にイヤホンの電源をオンにして、再接続を行ってください。
- 携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、イヤホンの電源がオンのままであればメインスイッチを1回押すと再接続を試みます。

11 リセット (イヤホン本体の初期化)

・・・リセットの手順

- イヤホンをリセットして工場出荷時の状態に戻す方法です。リセットすると本機に登録されているすべてのペアリング履歴が消えます。音声の調子が悪くなった時、接続が不安定な時、携帯電話機を機種変更した場合やイヤホンに接続する携帯電話を変更した場合は、本機を一度リセットしてご使用願います。

- リセットは以下の手順で行ってください。

- ①本機の電源をOFFにしてください。
- ②携帯電話機のBluetoothの項目を確認し、本機とのペアリング登録を手動で削除してください。
- ③本機にUSBケーブルにつなぎ、充電状態にしてください。
- ④本機のメインスイッチを本機8秒間以上押し続けてください。紫LEDが点灯したら、リセット完了となるので、指を離してください。※紫点灯が実行されない場合は、再度電源OFF後④をお試しください。
- ⑤すぐに本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。工場出荷時と同じように、電源を入れただけでペアリングモードになりますので、改めてペアリング登録をしてください。

12 トラブルシューティング

- 故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索(サーチ)しても「SINC BTE22X」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をOFFにして、再度電源をONにする。
- ②イヤホンの電源をOFFにして、再度電源をONにする。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「SINC BTE22X」を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。上記の内容を試しても解消されない場合は、「11.リセット」からお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンの充電電池が十分に充電されていない可能性があります。
電源をオンにすると赤青点滅になる	イヤホンがどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後や、リセット直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモードにならない	本機を再起動してください。

症状や疑問点	確認していただくこと
ペアリングができない	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。 携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない	イヤホン及び携帯電話の電源がオフになっている可能性があります。携帯電話機のBluetooth設定画面で接続状態がどうかご確認ください。 一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定が初期設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にするか、着信ごとに本機のメインスイッチを2秒長押しして、手動で携帯電話機と接続する事をお試しください。 着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押ししてすぐ離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器が接続している場合や、携帯電話の電波が混雑しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがなく確認してください。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 音量が小さくなっている可能性があります。音量を調節してください。
イヤホンから発信ダイヤルできない	イヤホンの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。
イヤホンからリダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(イヤホンプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	十分に充電した状態で頻りに切れるようであれば、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「SINC BTE22X」を一度削除し、再度ペアリングしてください。 携帯電話機と10m以上離れた時間約3分以上を超える、省電力モードに移行し、電源が自動的に切れる仕様となっています。その場合は再度、電源を入直す作業が必要です。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
TVの音声や音楽が聞こえない	携帯電話側がSCMS-T対応がどうかご確認ください。携帯電話が対応していない場合、TV放送は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンと接続したい	パソコン側のBluetooth機器がHSP(イヤホンプロファイル)に対応していれば接続とご使用は可能です。特定のメーカーや機種との適合に関するサポートは行っておりません。
破損 通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、通話時間/スタンバイ時間が少しずつ短くなります。十分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電電池の寿命です。充電電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤピースが、紛失した	本製品に付属のイヤピースは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めになったお店で取り寄せが可能ですので、必要に応じてお買い求めください。
イヤホンが家庭用ACや車用DC充電器で充電できない	充電器の出力が5V1A以上であることをご確認ください。 AC充電器(別売)の場合、プラグがコンセントに、DC充電器(別売)の場合、お車のアクセサリソケットに確実に差し込まれているか確認してください。 車のエンジンがかかっている(またはACC)か確認してください。
マルチポイント接続ができない	車やUSBソケットからの過電力の流入により、DC充電器内(別売)の保護回路が働き内蔵ヒューズが切れていることがあります。DC充電器(別売)のヒューズをご確認ください。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。

発売元

株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内(下のQRコードでもOK)

適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひご覧ください。
https://www.seiwa-c.co.jp

お客様サポートセンター(裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)

お客様サポートセンター… 0570(039)710
受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1